資料２

入湯税超過課税分充当事業
令和７年度　事業報告書

別府市

入湯税超過課税分の使途　“５本の柱”

1　温泉資源の保護、確保　2
（1）せーので測ろう！別府市全域温泉一斉調査　2
（2）地下水の現状調査　2
（3）別府市給湯事業見直し　3
（4）市営温泉の衛生管理強化　3
（5）温泉資源監視による計器の設置　3
（6）共同温泉改修等補助金　4
（7）共同温泉の事業継続支援　5

2　観光客の快適性確保（ストレスフリー）　5
（1）フリーWi-Fi の周知及び増設　5
（2）別府旅行プランニングサイト運営事業　6

3　観光客の安全・安心の確保
（1）ワンダーコンパス別府等運営事業　6

4　観光客を増加させるための事業推進　7
（1）別府版 DMO 機能充実のための新規人材の雇用　7
（2）観光マーケッター育成事業　7
（3）海外旅行会社とのネットワーク構築（ランドオペレーター）事業　8
（4）腸内環境タイプに基づいた泉質パーソナライズ研究事業　9
（5）美肌ウェルネスツアー造成事業　9

5　観光客の受入体制の充実　10
（1）十文字原展望台整備事業　10
（2）トイレ整備費及び除草作業等景観維持費用　10

別府市入湯税の超過課税分の使途に関する審議会条例第２条各号に関連する事業として、下記事業を実施した。

１　温泉資源の保護、確保

（１）　せーので測ろう！別府市全域温泉一斉調査

［決算見込額 2,326 千円］

①　事業目的

温泉資源保護及び市民への啓発のため、市有源泉を中心に源泉の定点観測調査を実施し、民間事業者の源泉を含めたデータを蓄積するとともに、市民の温泉資源保護に対する意識を向上させる。

②　事業内容

市民参加型による温泉資源の定点観測調査を行い、継続的に変化の有無等を確認するため、温泉水のサンプル採取、温泉水の温度及び電気伝導度測定、並びに７項目のイオン分析※を実施する。

※ナトリウムイオン、カリウムイオン、カルシウムイオン、マグネシウムイオン、塩化物イオン、硫酸イオン、炭酸水素イオン

③　事業実績

今回で 10 回目となった一斉調査では、午前の部では、研究者、温泉マイスター、市民等 55 名が参加し、14 グループに分かれ市内全域を回り温泉水のサンプル採取、温泉水の温度及び電気伝導度測定の調査を実施（78 施設、101 か所の泉源を採水。※事前採水含む。）し、午後の部ではワークショップを行い、各泉源の温度や成分等を過去のデータと比較し、変化の有無等について意見交換を行った。

一斉調査で得られた過去のデータは、広く一般に公開し、基礎的な情報を提供することを目的として、「せーので測ろう！別府市全域温泉一斉調査 Web マップ」をホームページにおいて公開している。

https://www.city.beppu.oita.jp/sangyou/onsen/seno_isseichosa.html

また、令和 6 年度に引き続き夏休み期間に、小学生を対象にした温泉体験学習を 4 か所の地区公民館で開催し、小学生 17 名、保護者 9 名、教員 1 名の計 27 名が参加し、「温泉講座」と「温泉成分の簡易分析」の 2 つの体験学習を実施することにより、温泉を科学的に学ぶ機会を提供した。

（２）　地下水の現状調査

［決算見込額 10,000 千円］

①　事業目的

温泉資源に必要な地下水に関するデータが不足しているため、地下水の利用状況を把握し、将来の温泉資源の保護施策の基礎資料とする。

②　事業内容

別府市の地下水の状況に関する調査研究について、京都大学の受託研究事業により実施する。

③　事業実績

令和 2 年度から継続している本調査研究は京都大学（調査研究員：大沢信二教授）の受託研究事業により行った。

令和 7 年度は令和 6 年度に引き続き別府地域の地下水を直接の研究対象とし、「水同位体による地下水の涵養標高の推定」と「VFL※電磁探査による地下比抵抗構造の調査」であったが、令和 7 年度はこれらの課題を継続するとともに、新たに「地下水に含まれる溶存成分の同位体分析による起源の推定」を行った。また、「地下水の年代測定」を実施し、雨水が地下に浸み込んで、地下を流動し、そして湧水や井戸から流出するまでにかかる時間についての情報を入手した。

※VLF（Very Low Frequency）…潜水艦などの通信用に設けられた大電力の送信局から放射される VLF 帯（3～30kHz）の電波を利用する電磁法である。

（３）　別府市給湯事業見直し

［決算見込額 24,200 千円］

①　事業目的

市有泉源から市有温泉や共同温泉その他公用又は公共用温泉などへ温泉を供給する別府市給湯事業を見直し、温泉の安定供給を図るとともに温泉資源の保護につなげる。

②　事業内容

別府市が行う温泉給湯事業の給湯路線（6 路線：総延長約 46 ㎞）の現状分析を行うとともに、効率的な運用を図るための見直し案を策定し、適切な維持管理・修繕・更新を行う。

③　事業実績

温泉資源の効果的な利用と保護を図ることを踏まえ、別府市が所有する温泉管等の更新などに必要な措置として、年次計画を策定するための基礎調査等を実施した。

R6：鉄輪線・富士見線・石垣線Ⅰ＆Ⅱ

R7：浜脇線・新浜脇線・亀川線

（４）　市営温泉の衛生管理強化

［決算見込額 476 千円］

①　事業目的

公衆浴場に義務付けられている法定の年 1 回のレジオネラ属菌検査について、任意での検査を 1 回追加し、市営温泉の衛生管理の強化を図るもの。

②　事業内容

全市営温泉の全ての浴槽及び貯湯タンクのレジオネラ属菌検査を、法定の 1 回に入湯税超過課税分を充当し任意の 1 回を、年 2 回の検査体制とするもの。

③　事業実績

市営温泉 15 施設の水質検査（レジオネラ属菌検査）を実施した。

（５）　温泉資源監視による計器の設置

［決算見込額 9,740 千円］

①　事業目的

市有泉源等にモニタリング計器を設置し、湧出量等に関するデータを監視することで、温泉資源の適切な管理、保護および持続可能な供給を図る。

②　事業内容

市内の湧出量等に関するデータについては、モニタリング箇所が概ね山側に偏在する傾向があり、地下資源の状態を正確に把握し分析していくためには、モニタリング箇所を拡充していく必要がある。

令和 7 年度以降モニタリング箇所を順次拡充していくことにより、市内全域にわたって温泉資源に関するデータの取得を目指す。

③　事業実績

市有泉源 3 か所にモニタリング計器を設置、また別府市旅館ホテル組合連合会が主体となり実施する「別府温泉定点観測事業」により民間宿泊施設所有の泉源にモニタリング計器を 1 か所設置した。

（令和 7 年度実績）

種別	件数	設置場所
市有泉源	3 か所	亀陽泉、竹瓦温泉、不老泉
民間施設	1 か所	鉄輪旅館　国東荘

（６）　共同温泉改修等補助金

［決算見込額 3,043 千円］

①　事業目的

共同温泉の改修等を実施するために必要な費用について、その一部を補助することにより、共同温泉を運営する温泉組合や自治会の支援を行い、市内の共同温泉を守ることを目的とする。

②　事業内容

市有区営温泉※のうち、立ち寄り入浴のできる共同温泉において、温泉利用に資する部分に係る急を要する改修、手すりの設置等のバリアフリー対策、その他観光客の入浴のための施設整備に要した経費に対し、30 万円を上限に補助金を交付する。

※市が土地及び温泉施設を所有し、温泉を運営する温泉組合等が管理運営をする共同温泉をいう。

③　事業実績

市有区営温泉に対し 18 件の補助金を交付した。（令和 6 年度は 11 件）

（令和 7 年度補助金交付実績）

種別	件数	改修内容	補助交付額
施設改修	16 件	浴室、外壁、屋根等の改修工事、並びに内部塗装、井水ポンプ工事など	2,798,300 円
観光客対策	2 件	防犯カメラ設置工事など	243,900 円
合計	18 件		3,042,200 円

※R6 実績は 11 件 2,111 千円

（７）　共同温泉の事業継続支援

［決算見込額 66 千円］

①　事業目的

多くの共同温泉が抱えている「担い手不足」「入浴者数の減少に伴う収入減」「施設の老朽化」などの課題を経営面から解決し、持続可能な共同温泉の運営を可能とする。

②　事業内容

共同温泉の事業継続支援のため、一般社団法人大分県中小企業診断士協会による経営に関する様々な相談に対応する窓口を設置する。温泉組合等の管理者に対し、中小企業診断士を派遣し、温泉の経営状況や、抱える課題の分析等を直接ヒアリングをし、経営課題の指導や支援のアドバイス等を行う。

③　事業実績

令和 7 年度の実績は、市有区営の東町温泉及び渋の湯の 2 件。

【事業評価】

10 回目となった市民参加型の「せーので測ろう！別府市全域温泉一斉調査」では、55 名の参加、温泉採水も 101 か所と前年度を上回る結果となった。また、この事業の派生イベントである小学生を対象とした「夏休み温泉体験学習」では、保護者・教員を含め計 27 名の参加があり、温泉を科学的な側面から学ぶ機会を提供できた。

「地下水の現状調査」及び「別府市給湯事業見直し」については、温泉資源の保護・確保に向けた現状分析等を行うとともに、将来の市有の温泉管等の更新に必要な基礎調査を実施することができた。

「市営温泉の衛生管理強化」では、例年どおりレジオネラ属菌検査を追加することで、衛生管理体制の強化を図った。

「温泉資源監視による計器の設置」については、市有泉源 3 か所、民間宿泊施設に 1 か所設置することができ、温泉資源のデータを蓄積する体制を拡充できた。

「共同温泉環境整備等補助金」及び「共同温泉の事業継続支援」については、施設の老朽化や観光客対策として 18 件の補助金を交付し、また、2 施設の経営相談を実施し、共同温泉文化の維持・継承するための支援に寄与することができた。

次年度以降も、将来にわたって持続可能な温泉事業の実現に向け、引き続き温泉資源の保護並びに共同温泉文化の維持・継承に取り組んでいく。

２　観光客の快適性確保（ストレスフリー）

（１）フリーWi-Fi の周知及び機器の更新

［決算見込額 7,700 千円］

①　事業目的

海外観光客及び国内観光客の快適性確保（ストレスフリー）目的とし、Wi-Fi の整備等、ネット環境の向上を図る。

②　事業内容

市内１２か所のフリーWi-Fi（Onsen Oita Wi-Fi City）の登録方法や設置場所

に関する周知及び管理を行う。令和７年度は全面的な機器（AP 機器）の更新を行った。

③　事業計画

全国的に通信事業による Wi-Fi スポットにおけるサービス提供は縮小傾向にあるが、現状を維持継続しつつ、全国の状況や現利用状況等を把握し、当該施策により観光客の快適性の確保に努める。

（２）別府旅行プランニングサイト運営事業

［決算見込額　5,000 千円］

①　事業目的

予約に関するサービスを集約したプラットフォームの開設。別府市公式旅行会社として別府に関するオリジナル旅行プランを提供するとともに、ご希望に応じて手配を行うなど旅行者に寄り添ったサービスの充実を目的とする。

②　事業内容

国内プロモーションの着地点として、別府旅行に関するプランの提供及び手配を行う。また、周遊パスサービスなどのコンテンツの販売を行う。

③　事業実績

・プラン相談数１０５件、ご成約４７件

・周遊パスポート利用者数　３，８２１人

【事業評価】

サイト自体の SEO も上昇し、メイン機能であるオーダーメイドプランの相談数、成約数も伸びてきている状況。周遊パスポートも少しずつ認知が広がり昨対 206％と大幅に販売数が伸びている。引き続きサービス向上に向け最適化を図りたい。

３　観光客の安全・安心の確保

（１）ワンダーコンパス別府運営事業

［決算見込額 22,940 千円］

①　事業目的

外国人観光客に対応できる観光案内所「駅前情報発信 café（ワンダーコンパス別府）」の運営強化を目的とする。

②　事業内容

・外国人観光客へ向けた情報提供及び情報収集

・外国へ向けた別府観光の情報発信

・外国人観光客同士の情報交換ほか

③　事業実績

来場者数：135,067 名（令和 5 年度 157,543 名、令和 6 年度 161,953 名）

運営体制：常駐 4 名

営業時間：8:45～18:00

サービス：案内業務及び各種チケットの販売、レンタサイクル、レンタル車椅子ベビーカー、手荷物の預かり、SIM カード販売ほか各種サービスの提供

その他　：他自治体の観光等ポスター・チラシの設置、物販販売、インバウンド向けガイドサービス実施

【事業評価】
日本政府観光局（JNTO)が毎年実施している全国の観光案内所表彰において「ユニバーサル対応部門」で表彰を受け、過去 2 回の受賞と併せて全国初の三冠を達成。地域事業者と連携し既存の仕組みを活用することで観光案内所の負担を軽減しながら運営可能な施設モデルを構築した点が高く評価された。また、本年度新たにホテルへの手荷物配送サービスを開始し手ぶら観光の促進に寄与した。リピーターの利用も見られ利便性の向上がうかがえる。また、ケロリンガチャなどオリジナル商品の展開やインバウンド向けガイドサービスの拡充など観光案内にとどまらないサービスを強化し来訪者の満足度向上と売上促進に繋げた。

４　観光客を増加させるための事業推進

（１） 別府版 DMO 機能充実のための新規人材の雇用

[決算見込額 3,300 千円]

①　事業目的

まちに根差した地域づくりとエビデンスに基づいた観光地戦略を実施することにより、「別府の稼ぐ力」を向上させることを目的とする。

②　事業内容

補助金案件に係る情報収集及び企画案、企画書作成補助業務の委託、商品、施設の開発案件に対するプロジェクト支援業務。

③　事業実績

・観光庁補助金：オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業コンサル（採択）※別府におけるオーバーツーリズムの未然防止対策として、別府市のもつコンテンツを最大限に生かした政策の提案。
・広域及び高単価オリジナルツアー造成提案
・周遊施策として、べっぷ周遊パスのプロモーション実施
・それぞれのお客様にあったプランを提案するオーダーメイド型別府オーダーメイド旅プランの利用促進

（２） 観光マーケッター育成事業

[決算見込額 8,199 千円]

①　事業目的

まちに根差した地域づくりとエビデンスに基づいた観光地戦略を描ける人材の雇用を目的とする。

②　事業内容（人材の幅を広げるため対象を変更）

〇別府観光人材育成プログラム…別府市内の観光関連事業者に勤務する若手社会人を対象とした育成プログラムを実施

〇別府ガイド育成プログラム…ＡＰＵ生５名を選抜し、実践型ガイド育成プログラムを実施

③　事業実績

〇別府観光人材育成プログラム（若手観光関連事業者）

ホテル白菊と亀の井バスから若手職員２名をインターンとして受け入れ、宿泊・交通・観光施設を横断して現場を学ぶ実践機会を提供した。加えて、先進地視察として京都を訪れ、それぞれの事業者に関連する先進的な取組を学習した。これらの経験を通じて、観光客の視点を踏まえつつ仮説と検証を繰り返す思考プロセスが育まれ、将来の別府観光を担う人材として着実な成長が見られた

〇別府ガイド育成プログラム（APU）

まちを深く知り、その学びを“伝える力”へと変える実践型ガイド育成プログラムを実施した。学生は地域での学習と案内実践を通じて魅力を整理し、旅行者へのガイドを体験。あわせて、観光客の行動や発信効果を考える観光マーケッターの視点も身につけ、まちのストーリーを届けられる人材として成長した

（３） 海外旅行会社とのネットワーク構築（ランドオペレーター）事業

［決算見込額 7,920 千円］

①　事業目的

訪日旅行を取り扱う海外旅行会社に対し、幅広いアプローチを行い、外国人観光客増加及び海外旅行会社との連携を促進する。

②　事業内容

訪日観光市場の最前線で活動する企業等と連携し、訪日旅行を取り扱う海外旅行会社に対して幅広いアプローチを行う。

③　事業実績

○　集客(2025年)

162ツアー、約 1,245 名

国:豪州・シンガポール・日本・ドイツ・イタリア・香港・デンマーク・インドネシア

○　ランドオペレーター業務

海外から別府を含むツアーの造成、各国旅行会社との営業セールス、オンライン商談

(ツアー実績)

・シンガポールの旅行会社 Intriq Journey と継続して案件を造成・催行
・豪州の旅行会社 MW Tours、DealsAway、TravelUn より複数のツアー案件を造成・催行
・Inside Japan Tours、EXO Travel と継続してツアー案件を造成・催行
・Viator、GetYourGuide 経由で１日ツアー、ミニバンツアー等の案件を多数受注
・ドイツの旅行会社 Unterwegs - individuelles Reisen、Geoplan 等、欧州市場からの案件を受注
・Abercrombie & Kent、Azza Travel、JTB Australia、fourwinds など多様な旅行会社・エージェントとの案件に対応

（４） 腸内環境タイプに基づいた泉質パーソナライズ研究事業

［決算見込額 42,100 千円］

① 事業目的

温泉入浴による腸内細菌叢への影響を分析し、個人の腸内環境タイプに基づいた最適な泉質を提案する仕組み（パーソナライズレコメンド）を開発し、市民・観光客の健康増進および新湯治・ウェルネスの推進を図る。

② 事業内容

異なる泉質の温泉に入浴することにより、個々が保有する腸内細菌叢に変動が見られることから、泉質ごとの変化を臨床試験で調査・分析し、腸内環境タイプに基づく推奨泉質を提案する仕組みをつくる。

③ 事業実績

令和７年度は酸性泉・塩化物泉の２泉質における臨床試験・分析調査として、被験者６０名を対象に入浴前後のアンケートや採便などを主とした実証実験を実施した。

令和６年度に得られたデータ（単純泉・炭酸水素塩泉・硫黄泉の３泉質・被験者６０名）と並行して現在分析中であり、個人の腸内環境タイプに基づいた泉質を提案する仕組みやプログラムの開発を令和８年度までに造成することとしている。

（５）美肌ウェルネス事業

［決算見込額 7,601 千円］

① 事業目的

「温泉の美肌効果」を温泉（浴槽）ごとに科学的根拠をもって検証し、認証（美肌温泉証）する。これまで感覚的であった美肌効果を、エビデンスをもって根拠付を行い、美肌ウェルネスを推進する。

② 事業内容

㈱ポーラとの連携事業として、別府市旅館ホテル組合連合会に加盟する市内旅館・ホテル１０施設において、温泉が肌に作用する効果を㈱ポーラ独自の肌科学分析調査にて実施。得られたエビデンスに基づいた美肌泉質の効果を様々なツールを活用して広く発信するとともに、プロモーション活動やイベントキャンペーンを実施し、美肌ウェルネスの推進及びブランディングの構築を図る。

③ 事業実績

令和６年度に実施した市営温泉３施設（竹瓦温泉・堀田温泉・鉄輪むし湯）を加えた計１３施設を紹介する美肌温泉マップの作製及び別府市公式観光情報サイト「別府たび」で特集記事として掲載し、旅マエの誘客を図った。また、新聞広告を掲出し、県内や九州・山口エリアにて広報を行った。

【事業評価】
　各事業は当初の目的を概ね達成し、別府観光の「稼ぐ力」の向上と国際化、持続可能性の強化に大きく寄与した。
ＤＭＯ機能の充実では、国の補助金採択を受け、高単価ツアー造成やオーバーツーリズム対策の具体化を進めた。マーケッター育成では、地元若手事業者やＡＰＵ生へ現場実践や先進地視察の機会を提供し、戦略的思考を持つ次世代の担い手を着実に育成している。また、海外旅行会社との連携では、欧米豪やアジアから１６２ツアー、約１，２４５名を集客し、多様なグローバル販路を開拓した実績は極めて高い。
今後は、育成した人材が地域で持続的に活躍できる環境を整えるとともに、構築した海外ネットワークを活かしたリピーターの確保、さらにはエビデンスに基づく観光地経営（持続可能な観光推進）のさらなる具体化と地域への波及効果の最大化が求められる。
　腸内環境タイプに基づいた泉質パーソナライズ研究事業については、令和６年度に実施した単純泉・炭酸水素塩泉・硫黄泉の３泉質に加えて、令和７年度は塩化物泉・酸性泉の２泉質にて最終被験者６０名を対象に同様の実証実験を行い、腸内細菌叢・短鎖脂肪酸・排便状況・ストレス等の変動を解析している。本事業にて温泉がもたらす腸内細菌叢への影響を多様なデータとして得られることから、今後の新湯治・ウェルネスの展開への活用が期待できる。

５　観光客の受入体制の充実

（１） 十文字原展望台整備事業

［決算見込額 1,545 千円］

①　事業目的

　別府市を代表する展望施設である十文字原展望台のトイレ等を整備し、受入体制の強化を図るとともに、利用者の利便性の向上を図る。

②　事業内容

　現在、男女共用となっている十文字原展望台のトイレについて、利用者状況等の調査を行ったうえで、バリアフリー対応など利用者目線での整備を行う。

③　事業実績

　令和６年度に利用実態調査を行った結果を踏まえ、現物の修繕工事を行った。内容としては、壁の塗り直し、照明器具の取り換え、小便器の洗浄、大便器を和便器から洋便器に取り換えた。

（２） 観光客受入環境整備費用

［決算見込額 4,759 千円］

①　事業目的

　トイレの改修・整備や道路の除草作業等を行うことにより、おもてなしの向上を図る。

②　事業内容

　トイレの改修・整備や、国道や県道といった所管以外施設の除草作業等を実施

する。

③　事業実績

- 志高湖女子便所等のトイレの洋便器化等
- 湯けむり展望台段差解消工事等
- 神楽女湖しょうぶ園遊歩道除草作業等

【事業評価】

例年に引き続き、観光客が多く利用する公園等の樹木剪定や除草、各種トイレの改修、駐車場整備やベンチの設置等を実施。加えて、施設のバリアフリー化を実施したことで、観光客が施設を訪れた際の満足度上昇と安全性の確保が図られた。また十文字原展望台整備については、令和７年度に現物の修繕工事を行い、洋便器化等実施した。令和８年度以降は事業手法等を調査するためサウンディング調査を行い、事業に沿った各種測量調査を行う予定。